

谷川連峰：谷川岳 雪上訓練②

- ◆日程 2023年12月16日(土)～17日(日)
 ◆メンバー L：OT、STS、IZ、GTA、KT、MD、OM、OD
 (MD、OM、ODは12/16のみ参加)

第2組は稀に見る少ない積雪量での実施となった。歩行動作を始め、基本動作の確認を中心に行った。初日夜に一時雨の予報であったが、適度な降雪となった。2日目は昼から大荒れ予報だったので、ロープウェイの運行が確実な早い時間に下山すべく登頂は断念。途中での歩行練習や耐風姿勢の練習で代えた。帰りのロープウェイはかなり風に揺られた。(記：OT)

12月16日(土) 天候：晴れ

雪上訓練は去年以来なので2回目だ。前回は装備不足なこともあり、迷惑をかけてしまったが、今回は装備を改めて整え、万全な状態で臨んだ。

8:00、OT車、DT車、MD車の3台で谷川岳ロープウェイ駐車場へ向かった。駐車料金は無料だが、値段はロープウェイ代に組み込まれているようだ。恒例の荷物重さ比べを行う。ここで、自分の荷物が人より重いことに気づく。全部必要だから仕方ないかと思いロープウェイへ。乗り込んで早々、雪が全く無い…。無いどころか、水が流れる音まで聞こえてくる。天神平スキー場に着いても雪が無い。2日目に合流予定だったAZさんに連絡を入れた。準備を整え、幕営場所を目指すことに。12月半ばだというのに暑く、汗だくになりながら登っていく。まるで春合宿を彷彿させるようであった。歩いているうちに分岐地点に到着。テントはまだ無かったが、今晚雨が降る可能性があるなかフライを持って来ていなかったことから、雨が降っても小屋に逃げられるようにと、熊穴沢避難小屋前でテントを張ることとした。小屋を目指し、再び歩き出す。雪の少なさは相変わらずだ。小屋に着いて一番乗りで幕営。スコップで地面をある程度平らにしての幕営となった。ここで荷物をデポして訓練場所へ。予想通り雪が少ない。どうやら1週目より少ないようだ。

訓練開始。まずは基本的な壺足から。雪の質によって足の置き方が変わるので、歩き慣れて見極められるようにしていきたい。その後にアイゼン、ワカンの歩き方へ。道具を使うだけで大分歩きやすくなるのを実感した。次に滑落停止訓練。OMさんとSTさんの雪ならしのおかげで、急な坂が出来上がった。滑ってみると予想に反して速い。今回はザックを下し、仰向けの状態での訓練だったが、ザックを背負った状態で止めるのは相当難しいと感じた。落ちないように歩き方や体力をつけていくのが1番の回避方法だと感じた。その後は埋没体験。1回ずつ雪に埋まり、実際の雪の重さがどの程度なのかを肌で実感することに。上から雪が被さると重みと痛みが来た。自力で抜け出すのも反動が無いと困難だ。覆いかぶさった後に声を出すと外で意外に聞こえたが、かなり近くでない聞こえない。埋まっている場所が分からなかったら探すのは至難の業だと思った。最後はビーコン操作。4人ずつのチームに分かれて相手チームの隠したビーコンを探し合った。特に話し合ったわけでは無かったが、探す場所が被らずできた。ビーコンの距離が近づいてもビーコン本体を探し出すのは中々難しかった。

訓練後、幕营地へ。テントも2張り増えていた。夕飯準備をしていると外国人の人が急遽小屋にビバークするようだ。食料も持っていなかったそうで、少しおすそ分けした。ザックは小屋に置かしてもらい、夕食。各々持ってきたつまみと酒で盛り上がった。明日に備え19:00に解散し、就寝。(記：KT)

CT：天神平スキー場 9:00 - 熊穴沢避難小屋 10:15/11:15 - 天神平上斜面(雪上訓練) 11:50/15:20 - 熊穴沢避難小屋 16:00(泊, 就寝 19:20)

12月17日(日) 天候：曇り・雪

4:00 起床。夜中から風が強く、朝もかなりの勢いで断続的に吹いている。瞬間風速で 15km くらいはありそうだ。ヤマテンで天気を確認するも、これから悪くなる一方の予報だ。6:00 出発としていたが、路面状況が目視しやすくなる日の出を待って 7:00 出発し、午前中までに下山することとした。スキー班はもう少し後で出るとのことだったので、全員で記念撮影後に登山班は出発。昨日の夜中、雪も降ったようだ。天気はまだ疑似晴天ということでギリギリ持っているようだ。天狗の留まり場まではアイゼンを履き、ピッケルを持って、岩肌と雪がミックスされた道を進む。ピッケルはストック代わりにはならないので、ほぼ地の力で登っていく。12月の山行で OY の VR でネクタイ尾根をストック無しで歩いたことが効いているようで、思ったより登れることが出来て自分自身の成長を実感する。

午前中に下山するために 9:00 に天狗の留まり場に戻る関係上、1 時間程度で歩行訓練の復習と耐風姿勢をすることになった。歩行訓練は 1 人ずつ先頭を歩き、夏山とは違う雪山での抜けるリスクがある中での先頭の難しさを味わった。耐風姿勢では「突風！」と誰かが言ったらすぐに構える練習ができた。道が狭い所や、前との間隔が取りにくい所での練習が出来た。

9:00 になり下山開始。熊穴沢避難小屋で荷物を回収・再パッキングをし、下山。昨日食当だったはずなのに、荷物の量がほぼ変わっていない(下山後、重さを見たら 19kg だった!) 天気が悪化する予報なのに登りのすれ違いが 4 組くらいいた。11:00 頃に下山。山頂付近を見るとホワイトアウトしているだろう雪が見えた。山頂に立つことは出来なかったが、賢明な判断だったと思う。オキノ耳に登頂できる日は来るのだろうか…。次回の雪訓の宿題だ。(記：KT)

【IZ コメント】4年振り3回目の雪訓、毎回条件もメンバー構成も違う中、今回は低気圧接近中の天候判断となり、また初めて雪崩埋没体験をさせてもらい(埋まる方も、埋める、掘り出す方も)貴重な経験でした。ありがとうございました。

CT：熊穴沢避難小屋 7:00 - 天狗の留まり場 7:40-1748m地点 8:25 - 熊穴沢避難小屋 9:10/10:00 - 天神平スキー場 10:45

【食当】

12/16 (土) 夜：地鶏だしゆず塩鍋と締めうどん (KT)

12/17 (日) 朝：穴熊雑炊の八丁味噌仕立ラスカル風 (MD)

